

## 協議事項：福井市地域公共交通計画の見直しについて

## 1 福井市地域公共交通計画とは

北陸新幹線福井開業による人やモノの移動拡大や経済効果を踏まえ、まちづくりと連携した総合的かつ戦略的な交通施策を推進するため、令和2年度に第2次福井市都市交通戦略を策定した。

この都市交通戦略に掲げるバス交通施策をより具体的に推進するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に規定されている地域公共交通計画を策定した。

## 2 見直しの背景

令和6年の改善基準告示（「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」）が適用されたことにより、運転手不足が深刻化し、路線バスにおいては大幅な減便や廃止が実施された。

また、事業者においては、人件費や物価高騰による負担が増加し、行政においても公共交通サービス維持にかかる負担が増加している状況にある。

このような状況を踏まえ、昨年度は地域特性の整理に加え、路線バス等の乗降データや人流データを活用した現況分析、南西部におけるオンデマンド交通の実証運行を実施し、「バス路線再編のビジョン（素案）」を作成した。

さらに、今年度から福井市において、国の補助事業を活用しながら自動運転技術の社会実装に向けた「ふくい自動運転導入プロジェクト」に取り組むため、全区間におけるレベル4自動運転の実現に向けた計画を福井市地域公共交通計画に位置付ける必要がある。

これらを踏まえ、今年度は「バス路線再編のビジョン（素案）」および「ふくい自動運転導入プロジェクト」を福井市地域公共交通計画に反映させるための見直しを行う。

## 3 見直しの内容（案）

- 「バス路線再編のビジョン（素案）」を踏まえた施策項目および施策の見直し
- 「ふくい自動運転導入プロジェクト」の実施に伴い、レベル4実装に向けた計画を記載

## 4 今後のスケジュール（案）

8月頃（第2回会議）	福井市地域公共交通計画の見直し概要の協議
10月頃（第3回会議）	福井市地域公共交通計画の見直し素案の協議
2月頃（第4回会議）	福井市地域公共交通計画の見直し最終案の協議

# 「バス路線再編のビジョン（素案）」について

## (1) 背景

本市の路線バスについては、2024年に施行された「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（改善基準告示）への対応により、運転手不足が顕在化し、大幅な減便や路線廃止が実施された。さらに、近年の物価高騰により、公共交通サービスを維持するための経費も増加している。

こうした状況により、公共交通を取り巻く環境は大きく変化し、地域住民の移動手段の確保が困難になる恐れがあるため、誰もが安心して移動できるよう、地域の特性を踏まえた持続可能な公共交通体系の再構築を図るものである。

## (2) 再編の基本的な考え方

バスの乗降データや人流データの分析等による交通の現状分析を踏まえ、持続可能な交通サービスへの見直しを行うため、バス路線の再編について、「公共交通幹線軸」、「周辺市街地（市街化区域）」、「農山漁村地域」の3つの区分それぞれにおいて、考え方を整理。

### 【分析結果】

#### 乗降データ分析

- 市街地を循環するバス（「運動公園線」や「学園線」など）の収支率が高い。
- すまいるバスはルートごとの収支率に差があり、特に「南ルート」は、「羽水高校線」など重複する路線があり、収支率が悪い。
- 農山漁村地域を運行するバスは収支率が悪く、市負担額も大きい。

#### 人流データ分析

- 朝夕は、通勤通学等により、市街地内及び市街地内外の移動が多い。
- 地域拠点や広域生活拠点への人の移動量が多い。
- 人口や施設が密集するため、市街地の移動量が多い。
- 人口が少ない農村漁村地域は小さな移動が広がっている。

### 【分析を踏まえた再編の視点】

#### ①公共交通幹線軸

視点1 朝夕の通勤通学に対応した維持確保

#### ②周辺市街地（市街化区域）

- 視点2 市街地循環線の拡充、利便性の向上
- 視点3 重複する路線バスのルートの統廃合、見直し
- 視点4 収支構造の改善

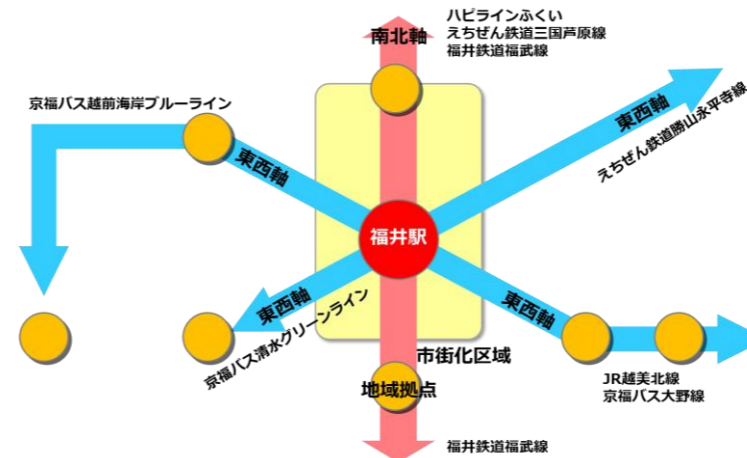
#### ③農山漁村地域

- 視点5 地域拠点、乗継拠点を中心とした利用実態に合ったオンデマンド化等の交通サービスへの転換
- 視点6 重複するフィーダー交通のルートの統廃合、見直し
- 視点7 利用しやすい運賃体系の維持、環境づくり

## (3) 再編のイメージ

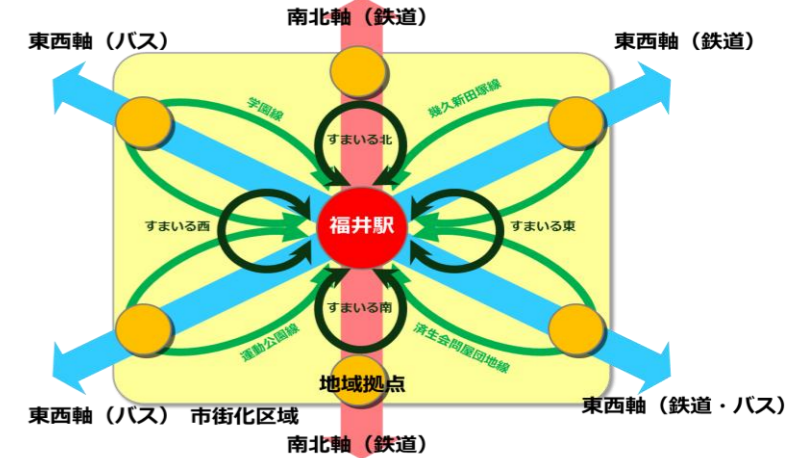
### ①公共交通幹線軸

福井駅と地域の拠点をつなぐ公共交通幹線軸は維持確保を図る。



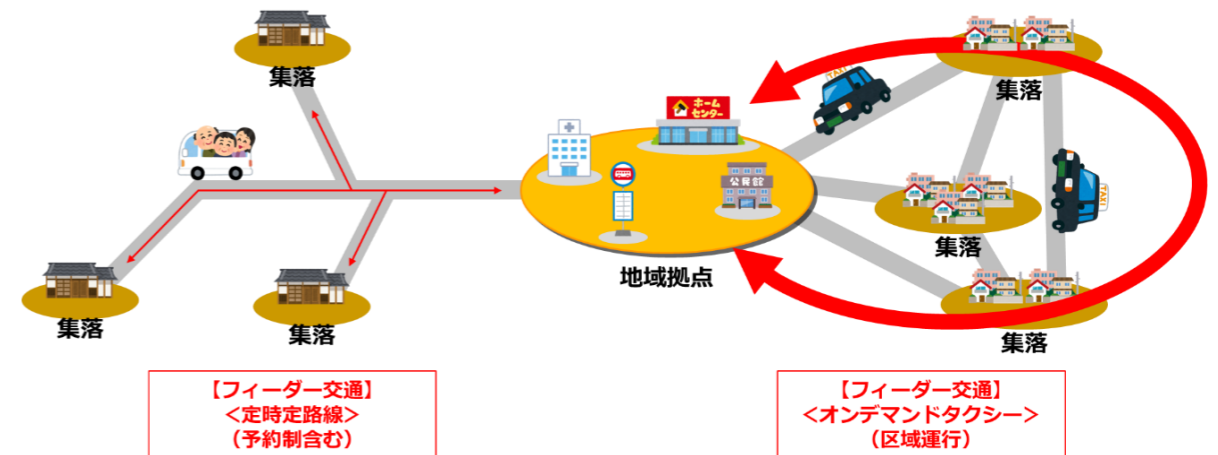
### ②周辺市街地（市街化区域）

福井駅を中心に市内を循環する路線の充実、ルート見直しを図る。



### ③農村漁村地域

地域拠点や広域生活拠点を中心とする地域の特性を踏まえた交通サービスへの転換と効率化、利用促進に向けた体制の強化などを図る。

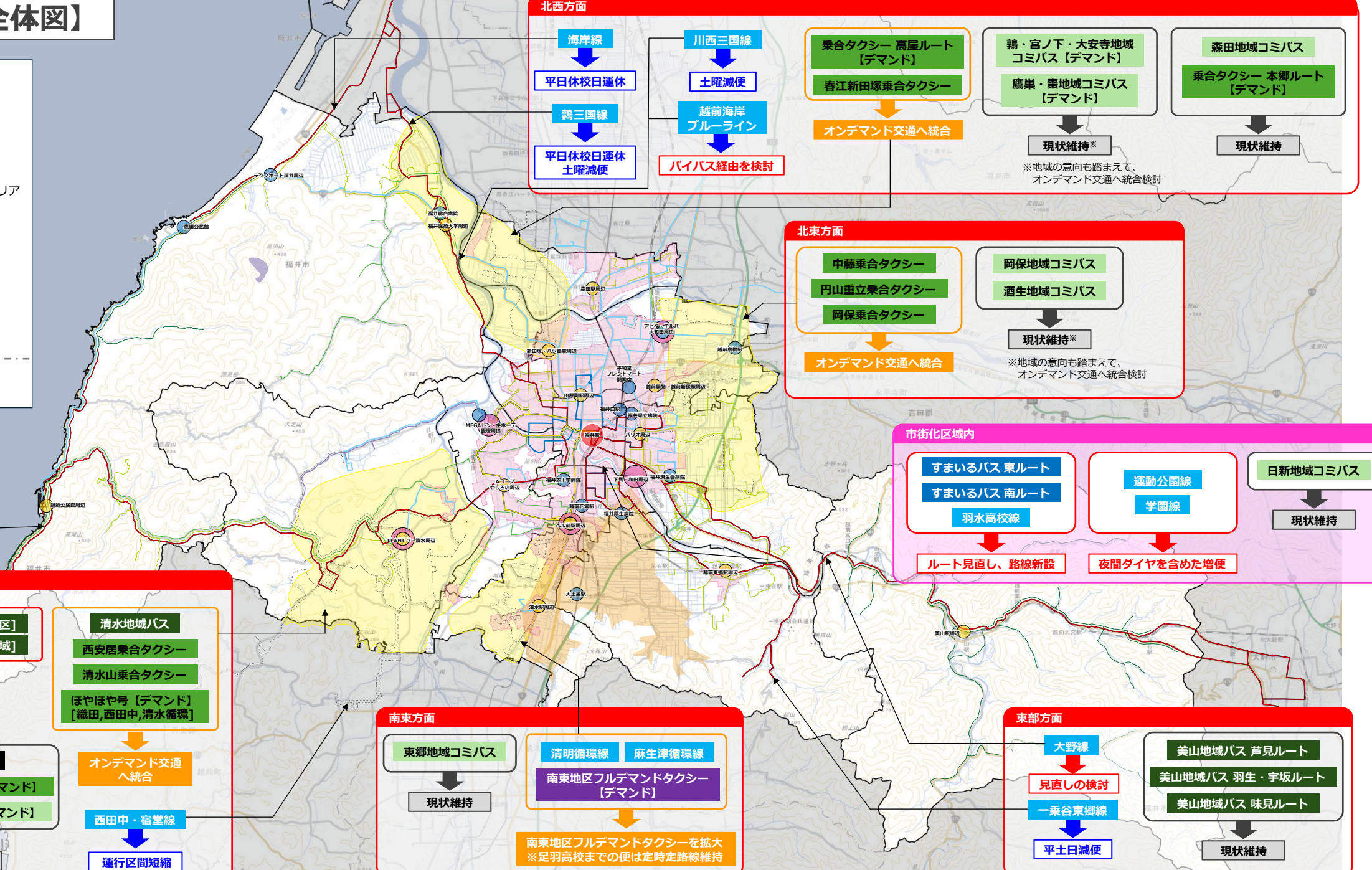


## (4) 再編のロードマップ

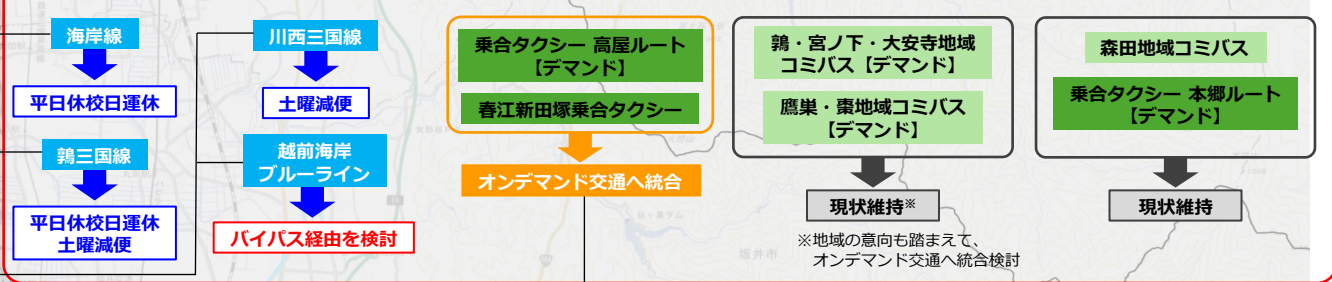
再編内容	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	
基本方針	検討	関係者調整	作成			
再編	南西地区	地元説明 実証	地元説明	再編		
	南東地区		地元説明	再編		
	北東地区		地元説明 実証	関係者協議	再編	
	北西地区			地元説明 実証	関係者協議	再編
	市街化区域			関係者協議により随時実施		

# 再編概要【全体図】

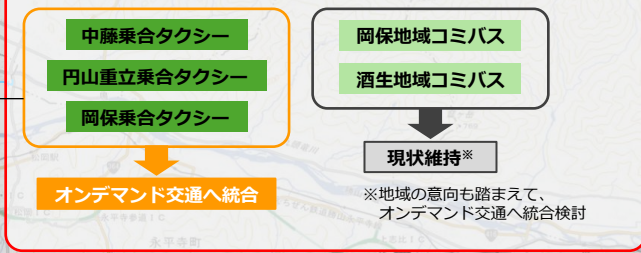
- <凡 例>
- 新幹線
  - JR線
  - 鉄道
  - 路線バス
  - すまいるバス
  - 乗合タクシー
  - フルデマンドタクシーエリア
  - 地域バス
  - 地域コミュニティバス
  - 地域の各種輸送資源
  - オンデマンド交通検討エリア
  - オンデマンド交通へ統合する路線
  - 乗継拠点
  - 地域拠点
  - 広域生活拠点
  - 市街化区域
  - 増便路線
  - 見直し路線



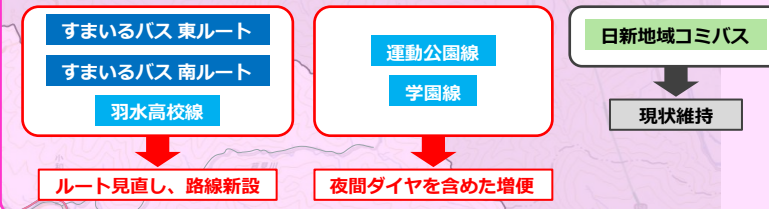
## 北西方面



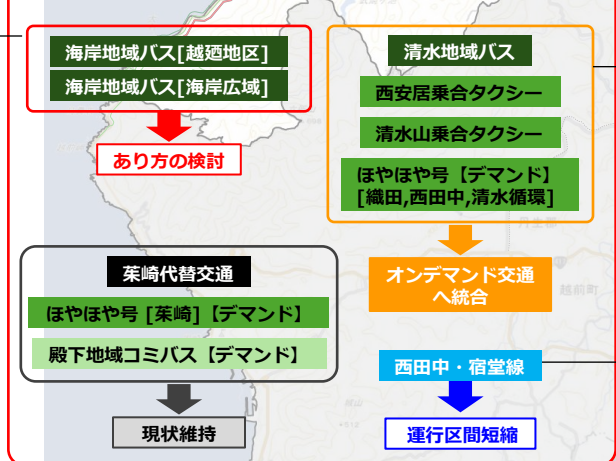
## 北東方面



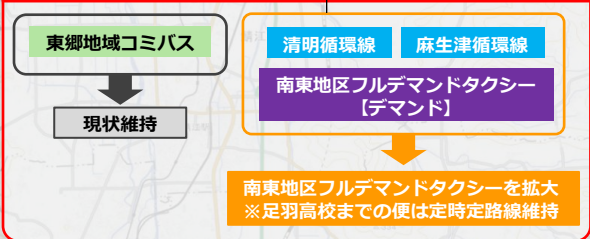
## 市街化区域内



## 南西方面



## 南東方面



## 東部方面

